MoMAK













左から、三色打薬扁壺 (1962年)、海鼠釉片口 (1929年頃)、練上壺 (1938年頃)、呉須筒描陶板「手考足思」(1957年) 辰砂筒描扁壺 (1950 年)、流描き鉢 (1930 年) すべて河井寛次郎作、京都国立近代美術館所蔵

3階企画展示室【開催中】

京都新聞創刊 140 年記念 川勝コレクション 陶工・河井寛次郎 鐘溪窯

京都国立近代美術館が所蔵する計 425 点の河井寬次郎作品 (川勝コレクショ ン)から、名品約250点を一堂に展示すると共に、当館所蔵の河井と交遊関 係のあった濱田庄司、バーナード・リーチ、富本憲吉らの作品を併せて紹介 しています。初期から最晩年にいたるまでの河井寬次郎の仕事の全貌を一挙 にご覧いただける貴重な機会!どうぞお見逃しなく。

なお、会期中の金曜と土曜は午後8時まで夜間開館しております。お仕事 帰りなどにもぜひお立ち寄りください。

会期:開催中~6月2日(日)まで

友の会解説会を行いました(5月17日)

今回は21名の皆様にご参加いただきました。解説会では、 釉薬の使い方や焼成の仕方を様々に工夫しながらユニークな表

現を展開していった河井寬次 郎について、主要な作品を取 り上げながら解説。また作家 自身の言葉にも触れ、「陶工」 としての寛次郎の生き様を垣 間見る機会にもなりました。













3階企画展示室【予告】

トルコ文化年 2019 チューリップの宮殿 トプカプの美 トルコ至宝展

オスマン帝国の栄華を今に伝える至宝約 170 点が、 イスタンブルのトプカプ宮殿博物館から来日!

20世紀初頭まで数百年間にわたり栄華を極めたオスマン帝国。 その象徴として敬われたのは、トルコ語で「ラーレ」と呼ばれる花、 チューリップでした。帝国内で盛んに栽培され、品種改良によっ て 2000 種もの多彩な姿を見せたラーレは、文学や美術において も好んで表現されました。本展では、スルタンの宝物をはじめト プカプ宮殿に残る美術工芸品の中から、ラーレ文様があしらわれ た品々をご紹介し、オスマンの優美な宮廷文化をご覧いただきま す。また、オスマン時代に始まるトルコと日本との友好関係の歴 史も振り返ります。

会期:6月14日(金)~7月28日(日)

友の会情報:特別解説会の実施

時 Н 定 昌 集合場所 6月20日(木)17:00~18:00

先着 30 名

当館1階ロビー

解説者

梶岡秀一(当館主任研究員・展覧会担当者)

申认方法

申込先:京都国立近代美術館 総務係

電 話:075-761-4114

(月曜から金曜まで、10:00~12:00 / 13:00~17:00)

メール: info@ma7.momak.go.jp

(件名は「友の会特別解説会申込み」としてください) ※お申込みの際、お名前・会員番号をお伝えください

※閉館後に開催しますので、解説会終了後の自由観覧はできません。

講演会情報

「トプカプ宮殿の織物 | 6月15日(土)午後2時~3時30分 講師: 奥村純代(トルコ・イスラーム美術史家) 「トプカプ宮殿とチューリップ文化」 6月23日(日)午後2時~3時30分

講師:ヤマンラール水野美奈子(本展監修者、国際トルコ美術史学会理事)

*いずれも、会場は当館1階講堂。参加費無料(要観覧券)。定員は、先着100名(当日午前11時より1階受付にて整理券を配布します)





発行: 京都国立近代美術館 京都市左京区岡崎円勝寺町 26-1 URL: http://www.momak.go.jp/

4階 コレクション・ギャラリー

2019 年度 第2回コレクション展

■没後80年村上華岳

村上華岳の没後80年を記念し、所蔵作品10点と寄託作品約20点に、京都市美術館所蔵の《阿 弥陀》ならびにこのたび修復が終了した盟友 入江波光の代表作の大下絵を加えて、国展時代まで の華岳作品の魅力をご紹介しています。

■近代アメリカの写真家たち:ギルバート・コレクションより

当館が 1986 年京セラ株式会社から寄贈された 1,050 点に及ぶ「ギルバート・コレクション」の 中から、エドワード・ウェストン(写真 1)やポール・ストランド、アーロン・シスキンら、厳選 した10人の写真家たちの作品をご覧いただけます。

■河井寬次郎をめぐる作家たち一棟方志功、芹沢銈介、黒田辰秋

3階で開催中の「河井寬次郎展」にあわせて、当館所蔵コレクションから民藝運動の主要な同人 であった棟方志功、芹沢銈介(写真2)、黒田辰秋の作品23点をご紹介しています。

■太田喜二郎

京都に生まれ、京都で亡くなった洋画家、太田喜二郎(1883-1951)が、滞欧中から帰国後にか けて試みた自然の観照、光の表現を、当館所蔵作品により探ります(写真3)。

■特集:井田照一と戦後の版画表現

井田照一 (1941-2006) にフォーカスをあて、デビュー当時の色鮮やかなリトグラフから多様な 素材を版として用いた実験的な作品まで、井田の版画をめぐる挑戦的取り組みの数々を、同時代 の版画家たちの動向とあわせてご紹介しています。

会期:開催中~6月9日(日)まで

1. 村上華岳《夜桜之図》1913年、2. エドワード・ウェストン《教会堂の扉、ホルニトス》1940年、3. 太田喜二郎《少女》1915年







イベントを実施しました

当館では、2017年度より「感覚をひらく一新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業」を行って おります。これは、「みる」ことを中心としてきた美術館での体験の「あたりまえ」を問い直す試 みです。美術館が地域の盲学校や大学、行政と連携して、障害の有無を超えて誰もが美術館を訪 れ、体験できるようなプログラムを創造·構築することを目指し、イベントの開催やツール(教材) の開発などを進めています。

3月30日には、「京都の染織展」に関連し、染織作家の野田睦美氏をお迎えし、染織作品を手 で触れて鑑賞した後、視覚を使わずに手織りのショートマフラーづくりにチャレンジするワーク ショップ「手だけが知ってる美術館 第2回 染織」を行いました。

☞ ウェブサイトはこちら→ http://www.momak.go.jp/senses/ 「感覚をひらく」事業の活動記録や実施報告などをご覧いただけます。





お知らせ

友の会会員証のデザインが新しくなりました

2019年度より、会員証のデザインを一新しました!

いずれも、当館が近年収蔵した、並河靖之の有線七宝の名品がモチーフになっ ています。(一般・学生会員は《花鳥図蓋付飾壺》、特別・団体会員は《桜蝶図平皿》 です。)

会員期限を更新されるタイミングで、新しいカードに切り替えさせていただき ます。友の会の更新は、当館1階インフォメーションまたは郵送で承っております。

お知らせ

展覧会図録の割引販売を行っています

1階ミュージアムショップでは、過去の展覧会図録の一部を割引価格で販売中で す。気になっていた図録がお得にお買い求めいただけるチャンス!ぜひショップ へお気軽にお立ち寄りください。※売り切れ次第終了となりますので、予めご了承ください。



都路華香展 (2006年) 2,060円→ 1,030円





没後 10 年 麻田浩 (2007 年) 2,060 円→ 500 円 椿昇 2004-2009 (2009年) 2,880円→500円

京都国立近代美術館賛助会員

当館は右記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。







般・学生会員向けデザイン